



# やる気 元

学校教育目標：心豊かでたくましく 心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校 学校だより 第 8 号  
令和3年11月30日 文責：校長 村井 宏之

## なつみっ子の声と笑顔が帰ってきた！



何の影響なのか、九月・十月は、子供たちに元気がなく、あいさつの声も小さく、心配な二期のスタートでした。先生たちにも「何かおかしい。子供たちの元気を取り戻そう。元気な声を取り戻そう。」と話し、取り組んできました。その甲斐あつ

てか、十月の後半から十一月にかけて、なつみっ子の「元気」が帰ってきました。十月末の「なつみっ子発表会」や十一月の「授業参観」がきっかけとなったのでしょうか？子供たちの声が響く、いつもの鳴鼓小になりました。今では一学期以上に元気で、明るく、子供たちの笑顔があふれています。あいさつの声も発表の声も、学校にも、地域にも響くようになりました。

鳴鼓小は「響かせよう 響き合おう」を合言葉に心と声が響き合う学校を目指して取り組んでいます。子供たちの声は学校の元気のバロメーターであり、学校の安定のバロメーターであると改めて感じました。子供たちの声と笑顔が、これからも続くよう頑張ります。ご協力をお願いします。

## 子どもへのメッセージ

十一月二十六日(金)に、地域の委員の方々にお集まりいただき学校評議員会と学校支援会議を実施しました。学校評議員会は、校長が

地域の方々の意見を幅広く聞くことを目的としています。今回は先日行った学校評価アンケートや学力調査の結果をもとにご意見をいただきました。また、学校支援会議は地域で育む子ども像・地域像を共有し、その実現に向けて、学校、地域、家庭が連携、協働することを目的としています。今回は、ここまでの学校支援活動について振り返るとともに、令和元年度に策定した「子どもへのメッセージ(地域で育む子ども像)」の見直しを行い確認しました。

## 子どもへのメッセージ(地域で育む子ども像)

- 「やる気 根気 元気」鳴鼓っ子は、
- 一 五つのお約束を守って生活します
  - 二 地域に関心をもち、ふるさとを大切にします
  - 三 自分の考えや思いをもち、しっかりと相手に伝えます
  - 四 自分で決めたことは、責任をもって粘り強く取り組みます
  - 五 思いやりと感謝の気持ちを大切にします

鳴鼓小学校支援会議

ここで示す姿は、子供たちに求める姿であると同時に、大人(保護者、地域、学校)があるべき姿です。学校、家庭、地域で、このメッセージ(地域で育む子ども像)を共有し、同じ方向性をもって、なつみっ子を育てていきたいと思えます。よろしくお願います。

## 十二月の主な行事

- 三日(金) 全校集会(表彰)
- 五日(日) 少年の主張大会
- 六日(月) 五校時日課開始(～十日)
- 七日(火) ～十三日(月) メディアOFF週間
- 十日(金) 人権集会・中学校体験入学(六年生)
- 十三日(月) ～十四日(火) 修学旅行(ハウスデンボス・長崎)
- 二十一日(火) CRTテスト(国・算 全学年)
- 二十二日(水) CRTテスト(理・英 五・六年)
- 二十四日(金) 終業式(給食あり)

## 修学旅行に行ってきます

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となっていた修学旅行に、十二月十三・十四日(一泊二日)で行ってきます。今年度も目的地はハウスデンボスと長崎市内です。十月にオープンした恐竜博物館にも行く予定です。自分たちが住む地元、長崎の魅力を知る機会になることを期待します。修学旅行の様子はHPで公開します。お楽しみに！

## CRTテスト(標準学力調査)を実施します

時津町では全学年でCRTテストを実施します。教科は、一～四年生が国語と算数の二教科、五・六年生が国語、算数、理科、英語の四教科です。年度内に子供たちの学習内容の定着度を把握し、改善を図るための調査です。昨年度までは年明けの一月に実施していましたが、今年度は改善の期間を確保するために十二月に実施することになりました。

